

## 地形からみた2011年のタイの洪水 Land form and flooding of central plain of Thailand in 2011

春山 成子<sup>1\*</sup>

HARUYAMA, Shigeko<sup>1\*</sup>

<sup>1</sup> 三重大学

<sup>1</sup>Mie university

タイ中央平原水害地形分類図で示した自然堤防、後背湿地などの微地形要素を2011年洪水とを対照したところ洪水氾濫状況と微地形との対応関係が認められた。後背湿地では洪水冠水期間が長く、自然堤防では冠水しても後背湿地と比べ冠水期間は短い。タイ中央平原西部のメクロン川・クラシオ川扇状地は冠水せず、扇状地末端からチャオプラヤ川・スパンブリ川に沿う後背湿地が洪水氾濫地域となった。1980年代後半から30年が経過してタイ中央平原南部は、かつてはバンコク首都圏を取り巻くように広がっていた農業地域の面積が減少し宅地や工場敷地面積が増加している。このため、被害地域が広域にわたった。

キーワード: タイ中央平原, 洪水, 地形, リモートセンシング

Keywords: central plain of Thailand, flooding, landform, remote sensing